

8-4-8 河川構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 河川構造物専門委員会の開催

委員会開催回数：10回

技術委員会をはじめ各委員会からの報告・連絡、及び、河川構造物専門委員会での取り組み内容について、検討・審議を行った。

(2) 照査特別WGへの参画、品質セミナー講師派遣

照査特別WGへ委員を派遣し、設計ミス防止のための「品質セミナー」に向けて、河川構造物の設計におけるエラー事例の収集と、エラー事例を基にしたテキスト、セミナー用PPTを作成した。また、平成29年10月日～11月2日に全国9支部9会場で開催された「平成29年度 技術委員会／品質セミナー“エラー防止のために”」に9名の講師を派遣した。セミナーでは、河川構造物のエラー事例の紹介とともに、今年度から河川計画のエラー事例についても紹介した。そして、河川管理施設の特異性、新しい設計法への対応、設計時の情報伝達の重要性、設計条件の妥当性確認などに関する講演を行い、エラー防止の重要性等について説明した。

(3) 「河川砂防技術基準(案)同解説設計編〔I〕」に関する意見交換及びQ&Aの作成

河川砂防技術基準(案)同解説設計編〔I〕は、平成9年に改訂後、一度も改定されていない。現在、改定に向けた準備がなされているが、以下の日程で意見交換を行うとともに、河川構造物専門委員会として、現基準の疑問点等をQ&Aの形でとりまとめて、建設コンサルタンツ協会のHPの掲示板(本部-河川構造物専門委員会)に資料をアップした。

・平成29年6月2日(金) 13:00～15:00

河川協会専務理事と意見交換

・平成29年11月10日(火) 13:00～17:00

建コン九州支部河川構造物研究会と意見交換

・平成30年2月8日(木) 10:00～12:00

国土交通省水管理・国土保全局、国土技術政策総合研究所、土木研究所、国土技術研究センターと意見交換

(4) 全国建設研修センターへの講師派遣

(一社)全国建設研修センターで開催される「河川構造物設計研修」に対して、平成21年度より共催で取り組み、河川構造物の特徴・設計の考え方、基礎工設計・演習、擁壁の構造設計手法、樋門の設計・演習に関する5日間の研修に対して、テキストを作成し、講師を派遣した。

(5) 「河川管理施設の点検結果評価基準等検討会」への委員派遣

国土交通省水管理・国土保全局が開催する「河川管理施設の点検結果評価基準等検討会」へ委員を派遣した。委員会での検討結果を踏まえ、「河道及び河川管理施設の長寿命化計画策定の手引き」が平成30年3月に国土交通省水管理・国土保全局河川環境課より公表された。

(6) CIM技術検討会河川WGへの参画

ITC委員会とともに「CIM技術検討会河川WG」に参画し、「CIM導入ガイドライン(案)第3編 河川編」の素案作成に携わった。

(7) その他

意見照会やアンケートへの対応や、委員会・WGへ委員を派遣した。主な活動を以下に示す。

- ・「修繕設計詳細要領」に関する意見照会
- ・「NETIS評価資料」の照査
- ・「要望と提案」に関する意見照会
- ・国債活用促進を図るための具体事例の照会

2. 次年度の活動について

- ① 照査特別WGへの参画・品質セミナーテキスト作成と講師の派遣
- ② 「河川砂防技術基準(案)同解説 設計編〔I〕」に関する国土交通省水管理・国土保全局治水課主導の委員会への参画
- ③ 建コン支部(四国支部)との意見交換
- ④ 「河川構造物設計研修」講師派遣
- ⑤ 各種委員会(CIM関連等)への参画

(河川構造物専門委員会委員長 佐藤 昭二)